

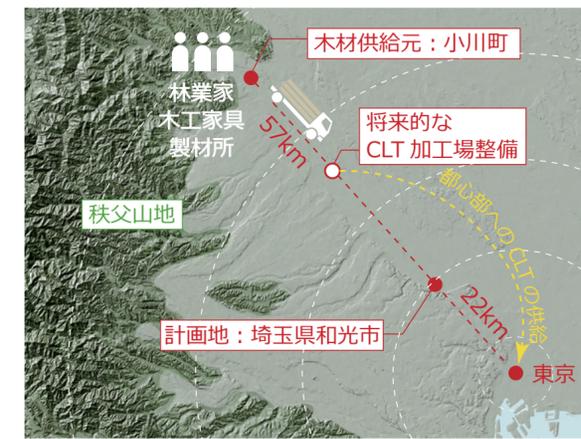


地域に広がる木の風景

CLTとS造のハイブリッド構造による地域拠点隣接型サービス付き高齢者賃貸住宅

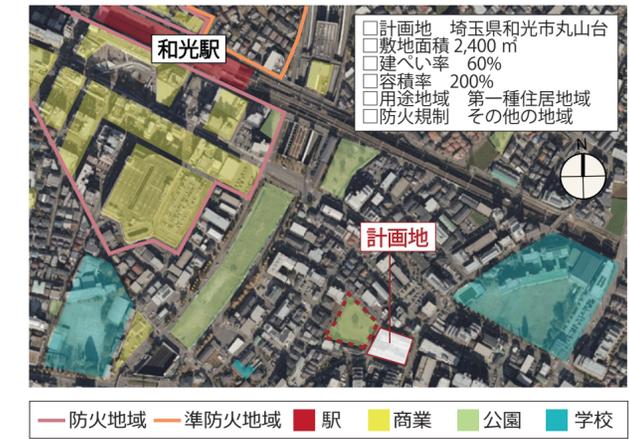
CLTとS造を組み合わせたハイブリッド構造による簡易的にCLTパネルの移設や解体が可能な構造システムを提案します。敷地に選定した埼玉県和光市は郊外住宅地として、都心部に位置しながらも県内の秩父山地は豊かな森林資源を有しています。公園に面した郊外住宅地の一角に入居者のライフスタイルや趣味に合わせて簡易的に移動や変更可、住居・店舗・集会所など様々な用途に転用可能な3種類のユニットを用いて、県産材のCLTを活用した地域拠点隣接型の高齢者住宅を計画する。CLTの軽量性と高強度を生かし、高齢者のための介護「施設」ではなく、高齢者が地域との繋がりを育みながら自発的に住みこなしていくことができる「生きた木の住まい」を提案することで、埼玉県内や郊外住宅地全体でのCLTの利用促進を促します。

都市部に位置する埼玉県で新たな循環を生む



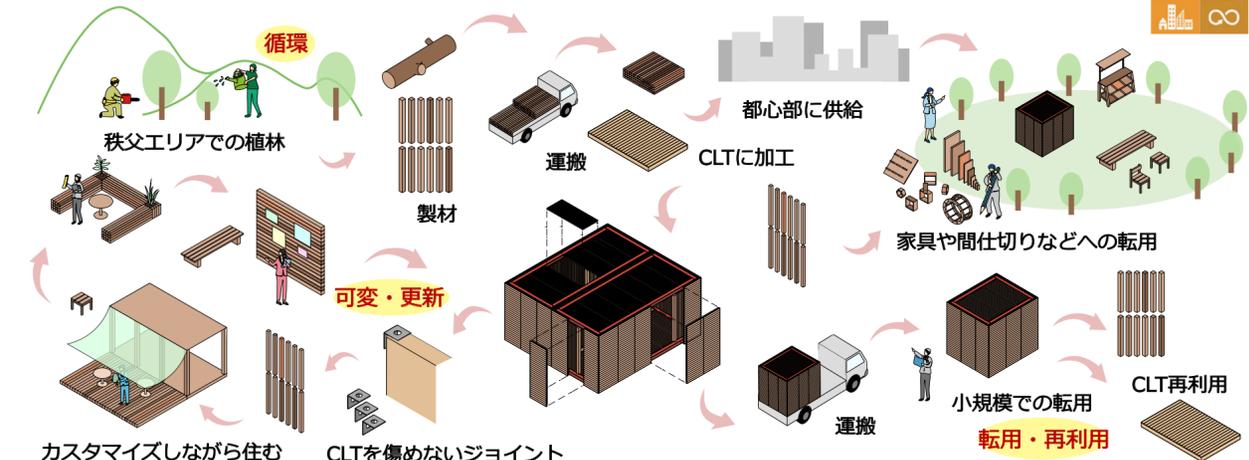
都心部に位置する埼玉県秩父山地は豊かな森林資源を有している。木材の製材や販売を行う林業家や天然木による家具工房など様々なステークホルダーが協業し、低炭素な街づくりを目指している。県産材を使用した、様々な場所で展開可能なCLTユニットシステムを普及させることで、秩父山地の林業活性化と、将来的には県内にCLT加工場の整備することで都心部への供給増加を目指す。

郊外住宅地における地域拠点隣接型の高齢者住宅



計画敷地は都心から車で約30分の郊外住宅地、埼玉県和光市。駅からほど近く、緑地公園や小学校、商業施設に隣接している。多様な人々がともに暮らす郊外住宅地において、高齢者が地域と関係性を育みながら生き生きと暮らすことができる「地域拠点隣接型のサービス付き高齢者賃貸住宅」を軽量性と高強度の特性を合わせ持つCLTを用いてつくる。

高齢者が地域との繋がりを自発的に育む居場所を、可変性の高いS造×CLTを使った架構システムにより実現



CLTの軽量性と高強度を生かして、CLTとS造を組み合わせたハイブリッド構造による簡易的に移設や解体が可能な構造システムを考案する。入居者のライフスタイルや趣味に合わせて簡易的に移動や変更可、住居・店舗・集会所など様々な用途に転用可能な設えにCLTを用いることで、高齢者のための介護「施設」ではなく、高齢者が地域との繋がりを育みながら自発的に住みこなせる「生きた木の住まい」をつくる。



コミュニティガーデン内観：住戸内の玄関を兼ねた土間空間とコミュニティーガーデンが廊下の縁側空間を介して繋がり、住民間の交流を育む。